

【河川】きれいな川を油流出事故から守るために!

～ 油流出事故に備えオイルフェンス組立設置等訓練を実施しました ～

令和6年10月31日
山形河川国道事務所

1. 経緯／概要

○最上川の水質事故の発生件数は、国が管理する東北12水系の中で最も多く、近年ワースト1位が続いています。原因の多くは、灯油等の油類の流出によるもので、暖房器具などを使用する冬期間(1～3月及び12月)が多発する時期となります。水質事故は突発的に発生し、下流へ拡散すると魚類のへい死や水道水等の取水停止など、環境や飲み水にまで影響する大きな被害につながる恐れがあります。

このため、最上川水系水質汚濁対策連絡協議会では、迅速で確実な事故対応技術を習得するために毎年訓練を実施しています。

2. 訓練概要

「令和6年度 オイルフェンス組立設置等訓練」

日 時: 令和6年10月31日(木)
13:00～15:00

場 所: 庄内町清川上川原地内
(最上川支川立谷沢川
東雲橋上流左岸)

参加者: 約100名 (国土交通省、山形県、
最上川流域市町村、東北電力 等)

3. 訓練の様子



道路上(床面)等での油回収訓練



水路での簡易オイルフェンス設置訓練(横断工法)



開会式



側溝での油回収訓練(土のう積み工法)



オイルフェンス組立状況



河川でのオイルフェンス設置訓練(半月工法)